



かわにし

小出特別支援学校川西分校 学校だより 平成30年2月7日（水）発行

3学期の授業日数も残すところ30日となりました。

全国的にインフルエンザの流行がニュースで伝えられておりますが、当校では保護者の皆様のご協力もあり流行を避けることができしております。大変に感謝しております。

さて、2月に入り今年度の授業日数があと30日となりました。そのため、1年間のまとめや4月からの新体制への準備を学校として進めております。生徒一人一人が教育目標である「夢をえがき、一步一步前進する生徒」を実現できるように教育活動を充実させてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

<生徒会長選挙を終えて>

～自分の考えをまとめて言葉にすること、自分たちでリーダーを決めること～

平成30年度の学校のリーダーを選出する生徒会長選挙が、1月19日（金）に行われました。2年生より立候補した2名と責任者が事前に各クラスを訪れて、次年度の実現したい公約を直接生徒に訴えました。これらの過程で、立候補者は自分だったらこんな学校にしたいと思うことや友達と協力してやりたいことをきちんと考えることができました。また、立候補者をより理解してもらうために責任者は、友達の良さを見つめ直し、自分の言葉で訴えることもできました。自分のことではなく、みんなのためにできることを自信をもって話す生徒の姿に、当校がよりよい学校になる力強さを感じました。

立会演説会当日は、立候補者が生徒会長になった時の考えを全校生徒の前で堂々と言葉にすることができました。自分たちのリーダーを投票によって選ぶことは、卒業後に様々な投票の機会に、立候補者の公約や考えをきちんと聞くことの大切さを学ぶことにつながります。さらに、自分の思いを託すことができる人を選ぶ大切さも学ぶことができます。どの生徒も両候補の説明をきちんと聞いて、真剣な表情で投票に臨むことができました。

また、選挙に至るまでの準備を、選挙管理委員会として運営委員会の生徒が中心となり行いました。選挙の受付や代筆希望者への対応、投票用紙の開票などを自分たちの手で実施しました。これらの活動を通して公正に選挙をするための手順や選挙の大切さを学んでほしいと考えました。

選挙の大切さを感じ取り、事前学習として本番と同じ選挙形式を経験できるように、新潟県選挙管理委員会と十日町市選挙管理委員会の方々よりご協力をいただきました。選挙の意味や重要性を外部の専門家から教えていただくことは生徒にとって大変によい経験となりました。

18歳になるとどの生徒も参政権が与えられます。これらの学習で学んだことを実生活の中で生かすためには、学校のみならず保護者の皆様のご理解が必要です。新聞やニュースで選挙に関する話題がありましたら、お子さんとの会話の際に選挙の大切さをお教えいただけるとありがたいです。よろしく願いいたします。

立会演説会



投票券を持って受付へ



市選管の方との投票



生徒による開票

